

特定非営利活動法人 PI-Forum (ピーアイ・フォーラム)
事業提案書 (特定非営利事業) No.1

1. 事業名称

「PI-Forum 誌発行事業」

2. 事業の目的及び事業計画上の位置づけ

PI-Forum 誌の発行により、学術分野や立場を問わず、ミクロからマクロまで、PI-Forum の定義する3つのPI (public incubation, public initiatives, and public involvement) に関心のある研究者、実務家の理論、言説、仮説などを、テーマを定めた上で収集し、定期的に共有する。

PI-Forum ではこれまで、研究者および実務家による自発的な情報交換を支援するため、ポータルサイトの構築と無償サービス提供を行ってきた。PI-Forum 誌の発行は、PI-Forum が能動的に情報を収集、拡散することにより、さらなる分野横断的情報共有を推進するものである。

昨年度は諸般の事情により発行できなかったが、本年度は第4号の発行を目指して、原稿公募、編集を行う。

3. 事業概要

1) 概要

A. 招待原稿

編集委員が協議の上、毎号5編程度、研究論文あるいは書評の執筆を外部の専門家に依頼する。執筆者の選定に当たっては分野および研究方法論の多様性について特に配慮する。

B. 公募原稿

研究論文および事例情報については公募を行う。公募の方法は以下の通り。

発行4ヶ月前：公募情報の告知 (PI-Forum メルマガ等)

発行2.5ヶ月前：応募締切 (原稿タイトル、発表者名 (連名者名)、梗概)

(* 応募多数の場合は採否を編集委員により協議)

発行1ヶ月前：原稿締切

2) 成果物

A. 研究論文

3つのPIに関連する論文 (A4版4~8ページ程度、2段組) を収録。著作権上の問題が存在しない限りにおいて既存論文の要約も可。特に若手研究者からの積極的な投稿を期待する。

B. 事例情報

PI事例に関する簡潔な実施報告、調査報告 (A4版1~2ページ、2段組) を収録。行政及びコンサルタントの現場担当者からの投稿を期待する。

C. 書評

(必要に応じ) 専門家による関連書籍の書評 (A4版1ページ、2段組) を掲載する。

D. イベント情報

3つのPIに関連する行事予定について各方面より情報を求め掲載する。またPI-Forum主催イベントの実施報告、また他機関主催のイベントへの参加報告についても適宜掲載する。

3) スケジュール

第4号のテーマについては現状のところ未定。

4. 実施体制

1) プロジェクトリーダー :

松浦 正浩 (編集主幹)

2) プロジェクトチーム :

(昨年度までご協力いただいていた方々に再依頼の予定)

5. 予算計画

第4号

事業収入 : 計 115,000 円

広告収入 (広告価格改定)

1 / 4面 (@25,000 円) × 3件 = 75,000 円、1 / 2面 (@40,000 円) × 1件 = 40,000 円、

全面 (@80,000 円) × 0件 = 0 円

事業支出 : 計 90,300 円

(1) 印刷

印刷・製本 (200部) (@62,000 円) × 1号 = 62,000 円

(2) 配布

送料 (@160 円) × 100部 × 1号 = 16,000 円

収支差額 : 24,700 円

6. 参考資料

特になし

7. その他考慮事項

特になし

以上

特定非営利活動法人 PI-Forum (ピーアイ・フォーラム)
事業提案書 (特定非営利事業) No.2

1. 事業名称

「PI書籍出版プロジェクト」

2. 提案趣旨

より広く合意形成に対する理解を深めるための書籍を出版する

3. 事業の目的

以下の目的で合意形成に関する書籍の出版を行う。

- ・ PI-Forumのプレゼンスアップ。
- ・ 合意形成、PI、CBに対する啓発。
- ・ 法人活動におけるツール、および財政状況改善。

4. 事業概要

1) 概要

- ・ 書籍出版環境検査、書籍出版企画再検討、執筆、編集、印刷、出版

2) 成果物

書籍 (店頭出版の他、献本が若干冊)

3) スケジュール

7月中旬: 法人内の環境が整っているか検討、前年度に比べて改善の見込みがなければ事業中止、改善があると明示的に認められる場合に限り推進決定。

夏休み前 (7月末) まで: 企画再検討、出版社探し

夏休み中 (9月末までの各自余裕のある時間): 執筆

11月末まで: わかりやすさ改善のために手をいれる作業

12月以降: 編集者より向こう側で作業できるものに基本的に限定

4月末 (PI-Forum 年度末) までに出版

5. 役割分担 (案)

- ・ 事業担当理事・・・菊池
- ・ 執筆・・・各理事

6. 予算計画

1) 収入

- ・ なし (年度内に印税収入が見込めない)

ただし翌年度の印税目標を 450,000 円 (1500 円 × 3000 冊 × 10%) とする。

2) 支出

- ・ なし (買取、編集補助費、広告宣伝費の支出を避けるようにする)

7. その他

特定非営利活動法人 PI-Forum (ピーアイ・フォーラム)
事業提案書 (特定非営利事業) No.3

1. 事業名称

「PI-Forum 年次セミナー 2008」

2. 事業の目的及び事業計画上の位置づけ

本事業は、合意形成の知識・実践に関心を持つ各界・各層の方々に開かれた共創の場として、2004年度から4カ年に渡って開催してきたPI-Forumの最大規模の成果発表会である。

我々が蓄積してきた様々な知識や情報を広く伝えることで、PI-Forumの活動を広く知らしめると共に、PIや合意形成への関心を高め、人的ネットワークを拡大することを目的としている。

5年目を迎える今回は、これまでの年次セミナーを継承しつつも、理事、会員から構成されるプロジェクトチームを編成し、新しい展開を検討する。

3. 事業概要

1) 概要

11月に1、2日程度、3つのPIに係るテーマで、研修、パネルディスカッション、ワークショップを行なう。具体的なテーマは、今後編成するプロジェクトチームにて検討する。

会場は、昨年度までと同様に、国立大学財務・経営センター キャンパスイノベーションセンター東京<東京都港区芝浦3-3-6 (<http://www.zam.go.jp/e00/e0000900.htm>)>を予定している。参加費は、一般5千円(会員4千円)、学生3千円程度を予定している。

2) 成果物

- ・イベント報告書

4. スケジュール

- ・6～7月：プロジェクトチームの編成。日程及び会場の確定。協賛企業への依頼。
- ・8～9月：事前告知活動開始。関連WSの実施(8/2)
- ・10月：イベント直前準備、参加受付開始
- ・11月：イベント開催
- ・11～12月：成果概要のとりまとめ メルマガ発行
- ・1月～3月：最終報告書とりまとめ 開催報告HP掲載
- ・4月～5月：協賛各社に報告、御礼

5. 運営体制

1) 主催：PI-Forum

2) 協賛：民間企業数社、他

3) 実施体制

プロジェクトリーダー：田中

プロジェクトチーム：今後、新たに編成

個別事業の実施責任者：テーマに応じて依頼

事務局：

- ・ 会場予約、申込み受付、備品等：プロジェクト事務局
- ・ 広報：理事全員
- ・ 会計：小松

報告書作成：

- ・ レポート作成：各事業の責任者
- ・ とりまとめ：田中
- ・ 編集：プロジェクト事務局

ファンドレイジング：山中、水谷、小松、理事全員

トヨタ以外の協賛企業の要請を予定

6. 予算計画（ 昨年度と同様の規模を想定）

（単位：千円）

収入		支出	
企業協賛	800		
参加費等	280	会場費	80
		消耗品費 + 通信費	50
		講師等謝金	90
		旅費	50
		資料作成費	30
		印刷製本費	100
		事務局経費	300
		アルバイト	40
		飲食費（ペットボトル等）	10
		交流会	10
		小計	760
		共通経費	$1080 \times 0.25 = 270$
		小計	1030
		予備費	50
合計	1080	合計	1080

参加者 60 名、うち 3 分の 1 が会員と想定

会場において、会員募集、PI-Forum 誌等の販売などを積極的に行う。

7. 参考資料

平成 16～19 年度事業計画書及び事業報告書

8. その他考慮事項

7 月段階での企業協賛の可否・規模により、内容の見直しを含めて決定していく。

以上

特定非営利活動法人 PI-Forum (ピーアイ・フォーラム)
事業提案書 (特定非営利事業) No.4

1. 事業名称

「異分野 PI 交流ワークショップ (将来展望編)」

2. 事業の目的及び事業計画上の位置づけ

これまで異分野交流 WS が開催されてきているが、今年度は「合意形成推進ロードマップ()」や「合意形成推進シナリオ()」といった長期ビジョンを今後検討することを念頭に置きつつ、さまざまな分野で「合意形成」に対するニーズへとつながりそうな動きとしてどのようなものがあるのかを把握するとともに、異分野間のコラボレーション促進を目的に WS を実施する。

(合意形成を推進する上で、法制度の改正や五箇年計画の策定など重要な動きを見据えた上で、どのような分野でどのような人々に、マーケティングやロビイング等の圧力を戦略的にかけていけばよさそうかを示す見取り図)

(シナリオ・プランニング技法により、超長期の視点から、わが国の「合意形成」がどのような姿になるかについて複数提示される将来像)

3. 事業概要

1) 概 要

WS を 3 回実施。

2) 成果物

WS による議論。報告書は作成しない。A4 で 1 ページ程度の要約を作成。

3) スケジュール (案)

具体的なスケジュールについては個々のプレゼンターとの調整で決定する。

テーマとしては以下のものを考えている。

- ・地球温暖化
- ・ジェロントロジー
- ・障害者福祉

広報はポスター等を利用。広報についてはプロジェクトリーダーが責任を負う。

4. 実施体制

1) プロジェクトリーダー：松浦

2) プロジェクトチーム：城山、水谷、八木

5. 予算計画

事業支出：計 210,000 円

(1) 会場費

16,000 円 / 回 × 3 回 = 48,000 円 (参考：東大山上会館 4,500 円 / 回)

(2) 謝金・交通費等(プレゼンターのみ)

12,000 円 / 人 × 2 人 × 3 回 = 72,000 円

(3) 事務補助員人件費

1,500 円 / 時 × 20 時間 × 3 回 = 90,000 円

事業収入：計 210,000 円

(1) 参加費

2,000 円 / 人 × 10 / 回 × 3 回 = 60,000 円 (会員)

2,500 円 / 人 × 20 / 回 × 3 回 = 150,000 円 (非会員)

収支差額：0 円

6. 参考資料

特になし

7. その他考慮事項

特になし

以上

特定非営利活動法人 PI-Forum (ピーアイ・フォーラム)
事業提案書 (特定非営利事業) No.5

1. 事業名称

「PI-Forum 連続セミナー2008」

2. 提案趣旨

- ・ PI-Forum が主催者となって、P Iに関する各種のセミナーを6回連続のパッケージとして定期的に開催するものである。

3. 事業の目的

- ・ PI-Forum としての定期的な活動を実施し、外部への情報発信を活発化させる。
- ・ P Iに関する各種のセミナーを連続して行うことにより、関心を持つ人々に対してP Iに関する基本的な内容を知ってもらう場を提供する。
- ・ 公的機関、公益企業などP Iに対するニーズが高いと思われる法人に参加を呼びかけることを通じて、PI-Forum の活動をP Rするとともに、協賛会員となっていただくきっかけとする。

4. 事業概要

1) 概要

- ・ 開催頻度・・・1回2時間(18:30-20:30)×6回、1回/月(9月～3月)×2地域程度
講師や参加者の希望により、1回4時間とすることも検討する。
- ・ 6回を一括にしたプログラムとして企画し募集する。(以下は、仮案)
 1. コミュニケーション : 聴く技術
《演習》3つの利害関心・1対1のコミュニケーション
 2. コミュニケーション : ファシリテーション
《演習》(ファシリテーターとしての)集会の場でのコミュニケーション
 3. メディエーション : メディエーションとは
《参加型》グループ討議 裁判と調停
 4. メディエーション : メディエーションの技法
《参加型》メディエーションロールプレイ
 5. 交渉学 : 立場と利害、単一イシューと複数イシュー
《演習》Win as Much as Possible 演習・複数イシュー演習
 6. 交渉学 : マルチステークホルダー交渉
《演習》マルチステークホルダー演習

2) 成果物

「連続セミナー(仮称)」実施報告書

(セミナー概要、風景、受講者の評価等をまとめたレポートを想定(営業資料として活用))

3) スケジュール

- ・ 6～8月の間に、関連法人、PI-ForumメーリングリストなどでPR
- ・ 9～3月に毎月1回程度に東京、名古屋にて実施

5. 役割分担(案)

- ・ 事業担当理事・・・水谷
- ・ セミナー講師・・・入江、松浦、篠田
- ・ 事務局・・・小松
- ・ PR活動・・・水谷、小松、八木、全理事

6. 予算計画

1) 収入

- ・ 受講料・・・1,800,000円(会員:60,000円×6名、非会員:90,000円×6名)×2地域
- ・ 6回一括として、1名あたり、会員の場合は60,000円、非会員の場合は90,000円とする。

2) 支出

- ・ 会場費 ￥180,000 (15,000/回×6×2地域)
- ・ 講師謝金 ￥360,000 (30,000/回×6×2地域)
- ・ 交通費 ￥180,000 (30,000/回×6回×1地域)
- ・ 資料準備 ￥36,000 (3,000/回×6×2地域)
- ・ 事務局人件費 ￥240,000 (20,000/回×6×2地域)
- ・ 備品等 ￥60,000 (5,000/回×6×2地域)
- ・ 経費 ￥630,000 (900,000円×0.35×2地域)
- ・ 予備費 ￥114,000

合計 1,800,000円

7. その他

- ・ 昨年度、受講していただいた法人の方に、再度お誘いをする。
- ・ 講師謝金、事務局費等は、今年度の現場支援事業にて整理される内規に基づき変更することがある。

以上

特定非営利活動法人 PI-Forum (ピーアイ・フォーラム)
事業提案書 (特定非営利事業) No.6

1. 事業名称

「四国 WS 『(仮称)合意形成運営技術者のナレッジと評価及びロスターの検討』」

2. 事業の目的及び事業計画上の位置づけ

これまで4年間実施してきたWSの新たな展開として、主旨である四国内の合意形成運営技術者の交流促進はもとより、合意形成運営技術者の評価やロスター(技術者リスト)実施といった、一步踏み込んだ議論ができる場を設けることを検討する。

会場は徳島市内とし、本年度においては、事例発表とは別に実施するディスカッションについて、より深い議論が実施できるような時間配分や会場づくりを心がける。

また、本事業にPI-Forumが関与することで当法人が行う活動に対する賛同を得ることができると考え、新規会員の獲得や新たな事業展開に寄与するものとする。

3. 事業概要

1) 概要

四国の市民参加や合意形成に係る事業に関与した技術者が集まり、各県の事例を発表 質疑 評価するイベントの第5弾として開催。四国四県の持ち回りで開催しており、今年度は徳島県で開催を予定。

これまで同様、(社)土木学会四国支部、(特)PI-Forum、(特) commons の共催で事業を実施することとする(主催は事業費の負担状況により、土木学会四国支部となる)。

PI-Forumは、本事業に関する会場の手配、参加呼びかけ(広報) 当日運営全般について支援することとし、記録作成や一部司会進行等については、共催の土木学会四国支部メンバーやcommonsの協力を得ることとする。

2) 成果物

- ・ イベント報告レポート

PI-ForumのHP上にアップするための当日感想などを踏まえた簡易なレポートを作成

- ・ 当日発表事例データ整理

発表者の承諾が得られた事例発表データについて、HP上にアップできる形で掲載

3) スケジュール(開催日程については土木学会四国支部と要調整)

- ・ 1月初旬~中旬:発表メンバー選定(原則四国4県で活動する技術者、研究者が対象:各県1~2名(計4~6名))
- ・ 11月~12月:開催準備
- ・ 12月下旬~1月上旬:開催
- ・ 3月中:報告

4. 実施体制

1) プロジェクトリーダー：小松一之 (PI-Forum 事務局)

2) プロジェクトチーム

- ・ 土木学会窓口責任者：山中英生 (徳島大学教授)
- ・ 企画協力支援予定者：澤田俊明 ((特) コモンズ)
- ・ プロジェクト推進事務局：小松 (PI-Foprurn 事務局 / ModelVillage)
- ・ 現場運営協力者：土木学会関係者 (今後調整)

5. 予算計画

事業収入：0 万円

事業支出：0 万円

以上

特定非営利活動法人 PI-Forum (ピーアイ・フォーラム)
事業提案書 (特定非営利事業) No.7

1. 事業名称

「PI指針と倫理・評価に関する規定展開事業」

2. 事業の目的及び事業計画上の位置づけ

事業の目的は以下の2点である。

H18年度までに作成した「PI指針(v4)」、H19年度に作成した「PI評価項目(v2)」、PI評価項目解説資料、「参加プロセスの実務者倫理(v1.0)」の広報に努める。

特に、「参加プロセスの実務者倫理(v1.0)」については、現場での活用経験も踏まえて議論の機会を設定し、その結果をフィードバックする形で改訂を検討する。

3. 事業概要

1) 概要

A. HP等における広報の展開

B. 「参加プロセスの実務者倫理(v1.0)」の活用経験に関する議論の機会の設定

C. 「参加プロセスの実務者倫理(v1.0)」のバージョンアップ

2) 成果物

PI指針等広報資料

「参加プロセスの実務者倫理(v1.1)」

3) スケジュール

・8月、9月：HP等による広報の展開

・1月：「参加プロセスの実務者倫理(v1.0)」の活用経験に関する議論とバージョンアップ

4. 実施体制

1) プロジェクトリーダー：城山、矢嶋

2) プロジェクトチーム：

篠田

5. 予算計画

事業収入：計0円

事業支出：計0円

以上

特定非営利活動法人 PI-Forum (ピーアイ・フォーラム)
事業提案書 (特定非営利事業) No. 8

1. 事業名称

「現場支援事業の試行」

2. 事業目的

現場支援事業を円滑に実施するために、昨年度までの本事業の成果を踏まえた上で、現状での課題点を整理し、短期的に解決できる問題を解決し、長期的に解決すべき課題には解決方針を与える。

3. 事業概要

1) 概要

昨年度は、「現場支援事業の試行」として、「人件費等の支払い方法に関する内規(案)」、「契約までの流れ(案)」、「サービスメニュー(案)」等に沿って、「北海道での連続セミナー」を受注し、大きな問題はないことが確認された。

今年度も引き続き幾つかの業務を受注しながら、また更にこれまでの異分野PI交流ワークショップや年次セミナーの成果を活かした自主事業、他組織と連携した事業を企画・実施しながら、現状での課題点を整理し、短期的に解決できる問題を解決し、長期的に解決すべき課題には解決方針を与える。

具体的な継続事業および自主事業としては、下記の事業を予定している。

北海道連続セミナー(担当:松浦、入江)

昨年度受注した北海道連続セミナーの2回目を夏ごろに、3回目を秋頃実施する。

PI-Forumによる中立的第三者としての現場支援体制の試行(担当:山中)

PI-Forumが提案してきたPI指針・倫理にのっとり、具体的な現場支援事業(ファシリテータ派遣,研修,指導など)の条件整理を進める。

IT系講座(担当:田熊)

企業や官公庁においてITシステムの導入の際に必要な合意形成において、PIフォーラムの提唱する「PI指針」「市民参加の評価項目」および「実務者倫理規定」などを応用することで、ITプロジェクトを成功に導くことができる。こうした異分野におけるPI、合意形成の応用の考え方や事例をPIフォーラムとして関係者にわかりやすく解説し、合意形成の重要性に関して啓発を図っていく。

2) 成果物

- ・ 現場支援事業の実施に係る短期的課題の解決
- ・ 現場支援事業の実施に係る長期期課題と解決方針の整理

3) スケジュール

7月末まで：法人の現状分析

8月末まで：現場支援担当者（田熊理事、山中理事、等）へのヒアリング

9月末まで：短期・長期での解決案の提案、可能なものは実施

3月末まで：現場支援担当者への支援実施後のヒアリング

翌年4月末（PI-Forum 年度末）までに状況の確認と報告書の作成

4. 実施体制

・プロジェクトリーダー：菊池

・プロジェクトチーム：山中、田熊、小松、水谷

現場支援事業ごとに、プロジェクトチームが構成される。

5. 予算計画

1) 収入

・北海道連続セミナー ￥60,000 （30,000円×2回）

・PI-Forum による中立的第三者としての現場支援体制の試行 ￥0

・IT系講座 ￥1,000,000 （500,000円×2回）

合計 1,060,000円

2) 支出

・北海道連続セミナー ￥60,000 （一般管理費）

・PI-Forum による中立的第三者としての現場支援体制の試行 ￥0

・IT系講座 ￥1,000,000 （講師謝金、旅費、印刷費、事務局経費、一般管理費（収入の25%程度）等）

合計 1,060,000円

特定非営利活動法人 PI-Forum (ピーアイ・フォーラム)
事業提案書 (特定非営利事業) No.9

1. 事業名称

「PIナレッジの体系化」

2. 事業の目的及び事業計画上の位置づけ

これまでに PI-Forum が実施してきた事業を中心に P I に関連するナレッジを体系化することにより、多様な P I に関連する方法論などの関連性を明らかにし、社会に対して提示する。また、これらを整理することにより、PI-Forum が提供できるセミナー等の企画に結びつけるなど、これまでに蓄積してきたナレッジの有効活用を図る。

3. 事業概要

1) 事業概要

これまでに PI-Forum が自主研究、共同研究、セミナー事業などで作成、利用してきたドキュメント、参考資料等を中心に P I に関連する方法論を対象、領域、場面等の切り口で整理する。また、当該ドキュメント等の著作権、利用権等の取り扱い、セミナー等で利用する際の注意事項なども併せて整理し、PI-Forum が利用する際のルールを明らかにする。これらの整理・分析がうまくいった場合には、社会に対して何らかの形（例えばホームページなど）で提示する。

2) 成果物

- ア) PI-Forum 関連資料一式及び体系図
- イ) 関連資料の利用ルール

4. スケジュール

- 7月：プロジェクトチームの設置、実績の整理
- 8月：関係者への協力依頼
- 9月：関連資料の収集
- 10月：関連性の分析、資料の取り扱いの整理
- 11月：体系図（案）の作成：関係者によるディスカッション
- 1月：体系図（Ver.0.5）作成：公表、意見募集
- 2月：資料の取り扱いのルール化
- 3月：とりまとめ

5. 運営体制

- 1) 事業担当理事：石川
- 2) プロジェクトチーム：理事及び多方面から有志を募りプロジェクトチームを編成。
（（別紙）によりプロジェクトメンバーを募集する予定）
- 3) 資料提供等の協力：各理事及び関係者に依頼（無償）

4) 資料整理など：アルバイト（条件を提示して依頼）(有償)

6. 予算計画

1) 収入：500,000円（大学・企業等との共同研究を模索）

2) 支出：資料のとりまとめにアルバイトを想定

人件費：1500円/時間×200時間=300,000円

印刷費：50000円

なお、共同研究の場合、予算の授受をしない形をとる場合があり得る。

7. 参考資料

これまでのセミナー報告書等

8. その他考慮事項

1) 大学・企業等との共同研究を行う場合には、先方との調整により、内容及び予算計画が変わることがある。

2) 本事業用のメーリングリスト及びホームページ上の資料の共有スペースを希望。

以上

「PI-Forumナレッジ体系化」プロジェクトメンバー募集

PI-Forumでは、NPO法人の設立から第7期目を迎えるにあたり、これまでの活動を振り返り、関連するナレッジを体系化するプロジェクトを開始します。

このため、プロジェクトに参加されるメンバーを広く募集します。

1. プロジェクトの目的

PI-Forum が実施してきた事業等に関連するナレッジを体系化することにより、多様なPIに関連する方法論などの関連性を明らかにし、これを社会に対して提示する。

2. プロジェクトの概要

PI-Forum が自主研究、共同研究、セミナーなどで作成、利用したドキュメント、参考資料等を対象、領域、場面等の切り口で整理する。また、当該資料等の著作権、利用権等の取扱い、セミナー等で利用する際の注意事項等も併せて整理し、PI-Forum や関係者が利用する際のルールを整理する。その成果をレポートとしてとりまとめる。

3. 参加のメリットと条件

- <メリット>
- ・PIに関する有用なドキュメントを体系的に把握することができる。
 - ・PIの専門家や参加メンバーとの人的ネットワークができる
 - ・ディスカッションを通じてPIに関する理解を深めることができる。
- <参加条件>
- ・プロジェクトで収集整理した資料の利用条件を遵守すること。
 - ・プロジェクトチームとして決定する作業計画に協力すること。
 - ・プロジェクトのとりまとめ成果はPI-Forum が著作権を有すること。
 - ・各人の活動に必要な経費については自ら支弁すること。

4. 検討スケジュール(予定:詳細はプロジェクトチームで検討します。)

- ・ 7月～7月:プロジェクトチームの設置(7月末頃にキックオフの予定)
- ・ 8月～1月:現状整理、分析
- ・ 2月～4月:とりまとめ、公表

5. 応募及び問い合わせ先

本プロジェクト担当理事:石川雄章

E-Mail: Yusho@pi-forum.org